

# 令和4年度智頭町百人委員会事業

部会名	事業名	事業の概要	予算額	決算額
商工・観光	子供たちの百人委員会「ドリームキッズ」	○子ども夢リポート事業 ・主に町内の小学生を対象に20組程度の「ドリームキッズ(夢実現希望者)」「希望者を募集」。 ・子供達の夢を引き出すワークショップを通じて出てきた子供達の夢の中から複数組を実際に夢の実現に向けて支援。	705,000	0
健康	未病改善セルフケア ～智頭で楽しいフィットネス～	○ほのぼのフェスタへの参加 ・若くばマナーウチ検査、人の体力測定を実施。 ・毎年バランス力強化のための運動を取り入れる。 ・救命救急、AEDマップの提示、健康食の試食を実施。 ○町内での健康情報提供と部員募集 ※6回掲載予定 6月(7月号) 健康についてやセミナー等の開催案内等 6月(8月号) 健康についてやセミナー等の開催案内等 7月(9月号) 健康についてやセミナー等の開催案内等 8月(10月号) ほのぼのフェスタの開催告知 8月(11月号) ほのぼのフェスタの結果報告 1月(3月号) 健康部会取組み報告 ○誰でもできる楽しいフィットネスプログラムの開催 ・開催時期 5月～12月に5回シリーズ ・内容 健康、美、食をテーマにしたセルフケアを実践 ・対象者 住居なら誰でも(若者層の獲得) ・会場 町内の施設、スペース。(例:ひだりホール、総合センター、新ちづ図書館、リプル等) ・リプルとの協働 体力アップ、気分転換 新しき部員の獲得 ○オンラインの仕組み作り 部会の開催(ZOOM等を活用)、セミナーの開催、SNS、フェイスブックでの情報発信。	474,000	0
ぐるぐる循環	まちの資源循環事業～Machi Guru～	町内の生ごみを収集し堆肥化・町民へ販売することで、資源とお金を循環するサーキュエコノミーのまちづくりを実施。 ○ごみ資源化事業 ・生ごみの回収(飲食店等から生ごみの回収)、埋肥づくり(資材の収集(落ち葉・米糠・初産・蟹土)、堆肥の活用(農家へヒアリング、試し使いのご依頼) ○周知・啓蒙事業 ・「生ごみ」「堆肥」「サーキュエコノミー」をテーマにしたチラシの作成。少しづつ町民の方々の認知度の向上。 ○調査・研修事業 ・生ごみ堆肥化の先進地域を視察。また堆肥・土づくりの講師の方を招き、研修会。部会内で勉強会を開催。	629,000	594,930
林業	坂土平伐後維持管理事業	180本、1300mの根本のある坂土平が管理が行き届かず、近年はてんく果病が適切に処理されないまま多くの木が放置されている。令和3年は樹形回復のためにパーク堆肥の散布、てんく果病部の剪定除去、枯れ枝の除去作業を実施したが天狗果病の新果は枝の先端にも出来ており、切除が困難なものもあった。令和4年度も引き続き、坂土平維持管理を行うこととし、今年度できなかった道路側の高所作業も併せて実施する。 ○てんく果病の病巣部の除去、切除部への殺菌剤散布 ○枯れ枝の除去 ○樹形回復のためのパーク堆肥散布による土壌改良 ○道路側高所作業(交通誘導員の配置)	026,000	756,999
	木と友達になろう ツリークライミング	83%という豊かな森林の新たな活用方法としてツリークライミングを実施。森林セラピーや民泊との協力をすすめることにより、利用者の満足度アップに繋げる。また、地元で育った森林高木の生徒や中学生、小学生にも木へ興味を持ってもらうきっかけづくりを図る。 ○本音 環境教育 ○レクリエーションツリークライミングの道具の整備 ○セラピーロードを活用したイベントの開催 ○従来のクライマー育成	931,000	851,827
教育文化	ナイト・シアターinらえの森ちづ図書館	ちづ図書館を本の貸し出しの場としてだけでなく、交流の場としての利用や文化や芸術の魅れる場としての活用を進める。令和4年度は、図書館を使用して映画鑑賞会を開催し、普段図書館に訪れない人々にも、図書館へ訪れるきっかけづくりを図る。 ○3ヶ月に1度、図書館の一角で映画上映会開催 ○関連書籍の紹介コーナーの設置	244,000	243,959
観光対策	森のやっかいものを地域資源に!	○ジビエ利用助成 ・ちづDeer'sに購入されたニホンジカ1頭に対して、謝金1,000円の支払。 ・狩猟期(令和4年11月～令和5年2月)にちづDeer'sに購入されたイノシシのメス1頭に対して、謝金5,000円の支払。 ○産地利活用 ・産地と産地を結び合わせた新しい特産品の試作・販売を支援を実施。 ○ジビエ魅力発信イベントの開催 ・ジビエ肉の販売や、ちづDeer'sのPRを実施。 ○特産品特許取得支援 ・町内での新規特産品特許取得者の支援を行う。 新規取得者に補助金5,000円の支援を実施。	700,000	453,930
特産農業	智頭ルバーブを食卓に! ～ルバーブ(カシス)ブランド化プロジェクト～	○HACCP(ハサップ)の考え方を取り入れた衛生管理の更なる推進 ・施設拡大に伴い、商品の安心安全は必須ジャム加工工程の衛生管理を行う機器類の整備に加え、加工作業室の体調管理及び衛生管理を遵守するための服装等の整備。 ○販路拡大 ・関西圏の鳥取県産品取り扱い店舗等を視察し、販売ノウハウを得る。 ・お菓子メーカー等との商談を行い、智頭町内外へ智頭ルバーブの認知の拡大。 ○智頭町特産産物の新たなブランド化 ・智頭町特産産物のブランド化の新たな試みとして、ショウガやキクイモについて模索。	280,000	262,803
高取大学	智頭町まちかどプラットフォーム構想 ～アプリを使った「智頭町の魅力発見マップ」作り～	○アプリを使った「智頭町の魅力発見マップ」の作成 ・2019年度版マップを基に、智頭小学校に協力依頼し、児童の視点と情報ツールを取り入れた方法を用いた「智頭町の魅力発見マップ」の作成。 ・智頭町民を対象に親子で智頭町のまち歩きを行い、「智頭町の魅力発見マップ作り」の活用WSを実施(2回程度)。 ・智頭町教育委員会や智頭町立高校をはじめ、智頭町に関わっている他団体(リザーブ智頭・山人法)と連携し、情報共有を行い、マップに盛り込む資料収集を実施。 ○智頭町の魅力発見マップのデータ化 ・作成した地図とGIS情報とを対応づけることで、地図上のランドマークアイコン等をタッチすると、その地点の情報が表示されるものにする。 ・将来的には、智頭町の「鳥取こちすふらり」として、情報体だけでなく、街歩きを行う際の支援ツールとして活用できるものにする。	694,000	149,142
			5,483,000	3313590

**令和4年度  
智頭町百人委員会  
報告書**

**令和5年3月24日**

## 智頭町百人委員会 商工・観光部会 令和4年度活動報告

商工・観光部会は令和4年度「子供たちの百人委員会 ドリームキッズ」事業を提案し、実現に向けて活動してきました。

10月に部会を開き、小学校と連携を図りながら、子供たちの夢を応援していく予定でしたが、同時期に新型コロナウイルス第7波の感染が鳥取でも猛威を振るい、商工観光部会員や小学校でも感染対応に追われる等、事業の推進が困難な状況となってしまいました。

年明けにコロナが収まった状況で改めて実施という手段もありましたが、子供たちの伴走支援含め、学校側とも丁寧なコミュニケーションが出来てない上での開催は難しいと判断し今年度事業の実施は断念しました。

商工観光部会では昨年12月の企画提案会で令和5年度事業の予算要望は出してはませんが、新たなアイデアも部会内外から芽吹いてきています。

今後もより良い智頭町になる為の一助となるよう、活動して参ります。

# 健康部会

## 【はじめに】

町民の健康意識の向上・健康寿命の延伸を図るためには、町民ひとりひとりが健康に関心をもち、自分の健康は自分で守るという意識を持つ必要がある。

ここ数年実施している、神戸・大阪から講師を招き、ほのぼのフェスタで簡単エクササイズや体力測定、各種体験コーナー、健康メニューの試食提供をするという一大イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となり、何もできない残念な結果となってしまった。

また、昨年見送られたリプルを活用してのプールエクササイズは、施設修繕が必要になったため、今年度も実施することができなかった。

## 【令和4年度 部会開催状況】

回数	月日	内容
第1回	5月11日 オフライン	今後の活動について

連絡事項はLINEグループで行い、広報ちづの原稿作成担当などを伝達。

部員が少なかった健康部会だが、今年度は新入部員が3名あった。部会の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から極力集まらずにできる方法を考えたので、開催回数は2回で、昨年度よりさらに少なくなった。LINE等で意見交換しながら、現状でできることを効率的に進めてきた。

## 【活動概要】

1. ほのぼのフェスタへの出展→新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、ほのぼのフェスタ自体が中止となったため、健康部会としての年に1回の健康に関する大きなイベントができなかった。

### 2. 広報ちづでの健康情報の発信

昨年度に引き続き、広報ちづへの記事の掲載し、健康情報の配信に取り組んだ。

10月号：食物繊維は第6の栄養素

12月号：健康と美容には腸活が大切

3月号：ヒートショックを防ごう

### 3. 総合センターでの部会紹介展示（文化祭期間）



智頭町 AED マップ、特定健診の PR ポスター掲示などを行いました。

### 4. 町内 AED マップデータの更新

<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=14KMuz9ofVaMSmX62cWvd75wGDC&ll=35.26499471262812%2C134.21655153783934&z=15>



### 【まとめ】

長びくコロナの影響だけでなく、各部員の活動な日程が合わなかったり、職場での制限等があったため健康部会としての活動がままならなくなってしまった。

また社会状況の変化や各自の職場事情も変化してしまったこともあり、来年度の活動は一旦休部する見通しである。

## 令和4年度 ぐるぐる循環部会 活動報告

### 【概要】

ぐるぐる循環部会は2022年から百人委員会に仲間入りし、「ごみの排出量を減らすこと」、ごみを「資源」へと変えることを目標に、以下の3つの活動を柱に活動を行いました。

#### ① ごみ資源化事業

生ごみの回収（飲食店等から生ごみの回収）、堆肥づくり（資材の収集（落ち葉・米糠・粃殻・壁土））、堆肥の活用（農家さんへヒアリング、試し使用のご依頼）

#### ② 周知・啓蒙事業

「生ごみ」「堆肥」「循環」「サーキュラーエコノミー」をテーマにチラシの作成。少しずつ町民の方々の認知度を上げていく。

#### ③ 視察・研修事業

生ごみ堆肥化の先進地域を視察。また堆肥・土づくりの講師の方を招き、研修会。部会内で勉強会を開催。

### 【活動実績】

#### ①. ごみ資源化事業

生ごみを減量・減容するための「床材」づくり、生ごみを数か月間保管しておくための「コンポスト」づくり、集めた生ごみを堆肥化するための「2次処理」のワークショップをそれぞれ開催し、堆肥を仕込みました。

床材や堆肥の仕込みには定期的に混ぜ返す「切り返し」と「温度管理」が必要なため、定期的に集まり部会員で管理をしていきました。

#### ●床材づくり：仕込み量 1267L

（内訳 もみ殻：780L 米ぬか：120L 落ち葉：120L 壁土：120L）



#### ●生ごみ収集：収集量 450L

ご協力頂いた家庭：13家庭



●2次処理：仕込み量 1316L  
ワークショップ (2/6) 参加者：21名



②. 周知・啓蒙事業

智頭町民の方々にぐるぐる循環部会の活動やサーキュラーエコノミーについて理解してもらう為に、広報誌「ぐるぐる通信」の全戸配布を全2回行いました。  
また、その他にも智頭町内の資源をマップ化した「Chizu potential Map」の作成も行いました。  
この中でも「コンポスト大解剖」のイラストについては東京のNPO法人くにたち農園さんから是非イラストを活用してほしいという依頼を頂き、有償で利用させていただく事となり、少ないながらも自主財源を確保することが出来ました。



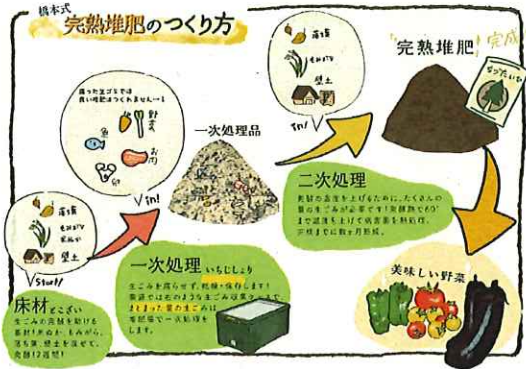
2022年夏号 (全戸配布)



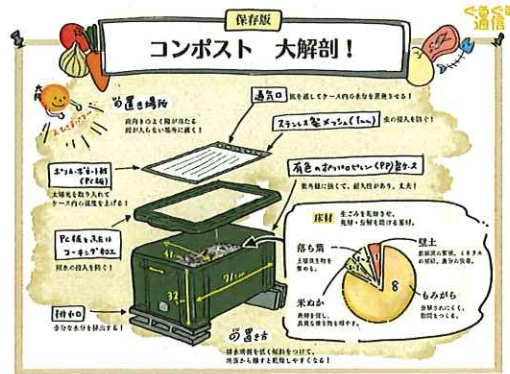
2022年冬号 (全戸配布)



生ごみ収集ケースHowto (随時配布)



完熟堆肥の作り方/2022年夏号（全戸配布）



コンポスト大解剖！/2022年冬号（全戸配布）



智頭町ポテンシャルマップ（随時配布）

### ③. 視察・研修事業

視察・研修事業については12月に三重県鳥羽への視察を行い、家庭でのコンポスト活用事例やセンター方式でのリサイクルパークの事例を学び智頭町での今後の展開の参考にすることが出来ました。また、2月に因幡環境整備株式会社との生ごみ収集に関する意見交換会を行い、今後も連携して智頭町の環境整備について活動していくことを話しました。



堆肥舎の視察



事務所で説明



集合写真



【時系列整理】

2021年度 床材づくりの為の資材収集  
2022年5月8日 床材作り（5名）  
↓  
5月20日 床材の切り返し作業（1か月間）  
7月2日 鴨志田さんワークショップ 床材作り/講義（10名）  
7月3日 鴨志田さんワークショップ コンポストづくり（5台）  
↓  
7月13日 切り返し作業（10日間）  
10月25日 コンポストづくり（3台）  
12月2日 企画提案会  
12月8日 鳥羽視察  
2023年 2月6日 鴨志田さんワークショップ 2次処理（堆肥化）（21名）  
↓  
3月15日現在 切り返し作業進行中

# 林業部会

## 【はじめに】

林業部会は、町の基幹産業である林業の振興に向け、自伐林家の目線で山を守る活動に繋がる支援制度を提案、実施してきました。

令和4年度は、管理が行き届いていない桜土手の180本、1300mの並木に着目し、天狗巣病の適切な処置等に取り組んだ。

また、木と友達になろうツリークライミング を行った。

## 【桜土手整備活動概要】

### 実施日

令和4年11月19日(土) 参加者 11人

令和5年3月4、5日(土、日) 参加者 のべ23人

### 内容

- ・桜土手への堆肥散布と天狗巣病部の除去及び枯れ枝の除去
- ・損傷部への薬剤塗布
- ・高所作業車2台を使った本格的な剪定作業

### 期待される効果

- ・堆肥散布をする事による樹勢回復
- ・天狗巣病部の除去による桜の健全化
- ・枯れ枝除去による通行者の安全確保
- ・桜の健康を取り戻すことにより、桜の花付きが良くなり、観光スポットとしての景観を保全出来る。
- ・町民自身で桜土手を維持管理する意識の醸成に役立つ。

○来年度も引き続き桜土手維持整備を行い、今年度できなかった温水プールから智頭中学校付近の桜の高所作業も併せて実施する。



## 【ツリークライミング活動概要】

### 実施日

令和4年10月2日(日) 参加者 10人

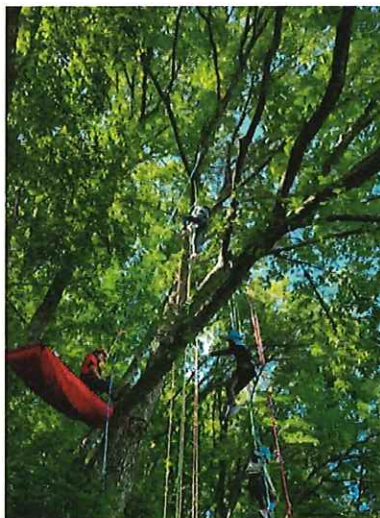
### 内容

- ・木育・環境教育 木と友達になる
- ・セラピーロードを活用したイベントの開催
- ・ロープを使った安全な木登り体験を行う

### 期待される効果

- ・木育・環境教育 木を大切に作る心を得られる
- ・体験型観光メニューの充実
- ・将来の職業としての選択肢
- ・他の観光業との協業による相乗効果

今年度は新型コロナウイルスと季節の都合で開催が少なくなりました。  
次年度は年度当初から開催に必要な道具が揃っていることと、新型コロナウイルスの影響も少なくなる事が予想されるので、開催を増やしていく。



令和4年3月24日

## ナイト・シアター in ちえの森ちづ図書館

### ●企画の背景

- ・ちえの森ちづ図書館のリニューアル
- ・図書館を、より広い用途で使う場に。文化の発信拠点。図書館を訪れる機会を増やす。  
↓
- ・映画上映の場として利用
- ・夜ならば、普段来れない方の中にも、来やすくなる方もいるのではないか。

### ●企画の概要

- ・年に4回の上映会を開催。
- ・映画の題材は、本と関わりのあるものを。
- ・上映の際には、関連書籍の紹介コーナーをつくる。

### ●活動実績



【第1回】7月30日  
「カレーライスを一からつくる」  
夏休み前の家族連れ向けに。  
来場者数：約25人



【第2回】8月20日  
「アニメ ざんねんないきもの辞典」  
夏休み中の子ども向けに。  
来場者数：約150人



【第3回】9月17日  
 「ぼけますから、よろしくお願ひします。」  
 大人や年配の方向けに。  
 来場者数：約65名



【第4回】11月19日  
 「つつんで、ひらいて」  
 開館2周年の11月に合わせて、本の装丁師のドキュメンタリーを。  
 来場者数：約20名

- ・客層に合わせて、時間帯を調整した。
- ・来場者数：約260人  
 うち半数以上が、図書館の利用頻度が1回未満。  
 90%以上が「大満足」「満足」
- ・「これからもいろんな映画上映をしてほしい」等、映画を希望する声も多く寄せられた。



【会場の様子】



【映画に関連する書籍】

●感想・来年に向けて  
 ・年代幅広く、来てもらえるような作品を選べたのがよかった。  
 ・夜の図書館もよい雰囲気だったが、作品に合わせて時間帯を変え、より多くの方に映画に触れる機会を持ってもらえたらと思う。

・第3回「ぼけますから」などは、来場者が多く、図書館ではぎりぎりだった。  
 多くの来場者が見込まれる場合には、図書館だけではなく、より広い場所を検討したい。

・図書館上映のできる作品に選択肢を限り、今回は作品を選んだが、次年度は自主上映の作品も視野に入れ、より多くの方に映画に親しんでもらえるような企画にする予定。

# 智頭町百人委員会 獣害対策部会

## 事業報告

### 【ちづネクスト 智頭中学校青空教室 町産ジビエ紹介】

令和4年6月27日に昨年度に引き続き智頭中学校2年生に向けて智頭町に生息する鳥獣の生態や獣害被害対策の講義、有害鳥獣利活用に係る取組の紹介をした。

町内でジビエ料理キッチンカー「Hunts kitchen」を営む寺尾さんに講演いただき、鹿肉を使用したローストを試食し、ジビエを体験してもらった。



### 【解体処理施設 ちづ Deer's イノシシ・ニホンジカ搬入促進支援】

ニホンジカの搬入に対して1,000円、狩猟期(11月～2月)の雌イノシシに対して5,000円を狩猟者に交付し、ちづDeer'sへの搬入促進を図った。

(単位：頭)

年度	ニホンジカ	イノシシ(令和3年より)	合計
令和元年	437	0	437
令和2年	349	0	349
令和3年	273	1	274
令和4年	299	0	299
合計	1,358	1	1,359

令和4年度の有害捕獲期間(3月1日～10月31日)は10月をピークに搬入頭数は昨年度と比較して増加傾向にあったが、狩猟期は大雪の影響により捕獲檻、くくり罠の捕獲数が減少したことで、年度を通しての捕獲頭数は伸び悩む結果となった。

智頭町の狩猟期での捕獲頭数は天候に左右されるため、有害捕獲期間の搬入頭数のさらなる向上を目指す。そのためには八頭郡猟友会智頭支部との連携し、未活用のわなの新猟友会員への貸し出し、譲渡等を行うなどの捕獲力の強化が必要である。

また令和3年度からスタートした狩猟期における雌イノシシの搬入支援の成果はR4年度：0頭となったが、雄イノシシの搬入はあり、イノシシ全体の捕獲頭数は昨年度に比べて増加傾向にある。

### 【狩猟免許新規取得者支援】

狩猟免許新規取得者支援として、一人あたり5,000円の支援金をお渡ししている。

今年度は4名の方が支援金を活用することで狩猟免許(わな免許取得者：3名、第1銃猟・わな免許取得者：1名)を取得し、八頭郡猟友会智頭支部に入会したことで、猟友会会員の増員に繋げることができた。

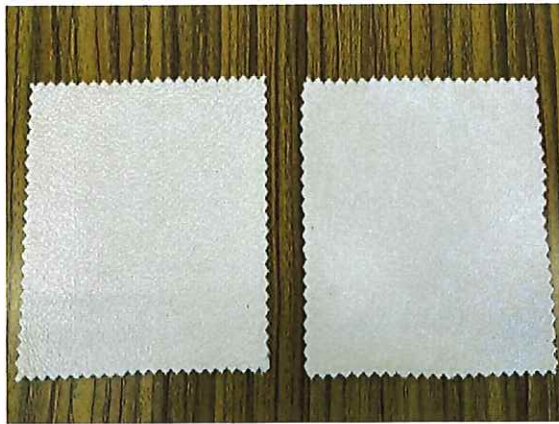
### 【鹿革講座・鹿革商品開発】

令和5年3月10日に lore + needles 濱口 恵実 講師をお招きし、智頭町総合センター2階技術研修室にて鹿革講座を開催した。

鹿革講座では鹿革の特徴や種類、鞣し方法の種類と環境へどのような影響を与えるかを勉強し、智頭町に適した環境にやさしい鹿革商品開発に必要な知識を取得した。

会の後半では、ちづ Deer's に搬入されたニホンジカの革を油なめししたセーム革を加工してメガネ・スクリーン拭きと洗車拭きを作成し、使用検証・保存方法の検証実験をすることで品質の向上と商品化に向けた課題の洗いだしを行った。

結論として、商品化には銀なし(革の表面加工をしたもの)が適していることがわかった。



# 特産農業部会

## 【はじめに】

特産農業部会で栽培8年目を迎えたルバーブは、共同栽培や、部会員個々の畑での栽培の他、店舗での鉢植え栽培を行っている。今年度はキクイモやショウガの加工や販路開拓を目指すグループも参加した。

今年度は感染症の影響が緩和したことにより、視察は控えることとしたものの、昨年度と比較しイベント参加の機会が増えた。

## 【活動概要】

### 1 ルバーブ栽培活動

- 苗鉢上げ 4月8日
- 沖代圃場除草 4月30日、6月4日、7月25日、7月30日
- 令和5年度育苗播種 3月3日

### 2 ジャム加工活動

5月20日、7月28日、8月10日、8月25日、9月16日（小・中学校給食用）、10月28日、11月18日、12月17日、1月7日、3月17日

### 3 販路開拓活動

○キクイモ、ショウガ加工品

#### 【イベント出店】

- ・倉吉パープルタウン「〇〇市（まるまるいち）」 7月20日

○ルバーブジャム

#### 【イベント出店】

- ・智頭の農市（鳥取中央郵便局） 10月21日
- ・鳥取県物産展（大阪府） 11月22日

#### 【その他】

- ・加藤産業(株)（大阪府、ジャムの提供）
- ・シェ・ベン（町内、ルバーブ、カシスの提供）

### 4 その他

- ・ふるさと納税返礼品として 29件

## 【まとめ】

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、昨年度よりは販売・販路確保活動に力を入れることができました。

また、本年度は、衛生管理を徹底することに注力しました。昨年度導入した備品に加え被服の整備を行い、また、キクイモ等の加工品の販路開拓を目指すメンバーも、新たにpHメーターや中心温度計をはじめとした衛生管理機器の導入を行いました。

さらに、(株)食品微生物センターに委託し、加工販売を行っているルバーブジャム、カシスジャムの食品細菌検査を行い、その結果、衛生管理が徹底されていることが確認されました。

来年度に向けた企画提案会では、衛生管理（HACCPハサップ）の推進、町内外での販路開拓等を挙げています。さらなる販路の拡大と智頭町の特産品としての認知度向上を目指します。



# 鳥 取 大 学

## 智頭宿まちかどプラットフォーム構想

### ～アプリを使った「智頭宿の魅力発見マップ」作り～

#### 【はじめに】

本事業対象の智頭宿は、智頭宿往来の宿場町であり、江戸時代以降、鳥取県内最大の宿場町として栄え、国の指定重要文化財とされる石谷家住宅等、観光客が訪れる場所が点在している。平成 11 年の智頭宿まちづくり協議会の結成により、平成 12 年に「歴史を活かしたまちづくりの構想」を作成し、度重なる取り組みがなされたものの、住民全体のまちづくりまで至っていない状況である。

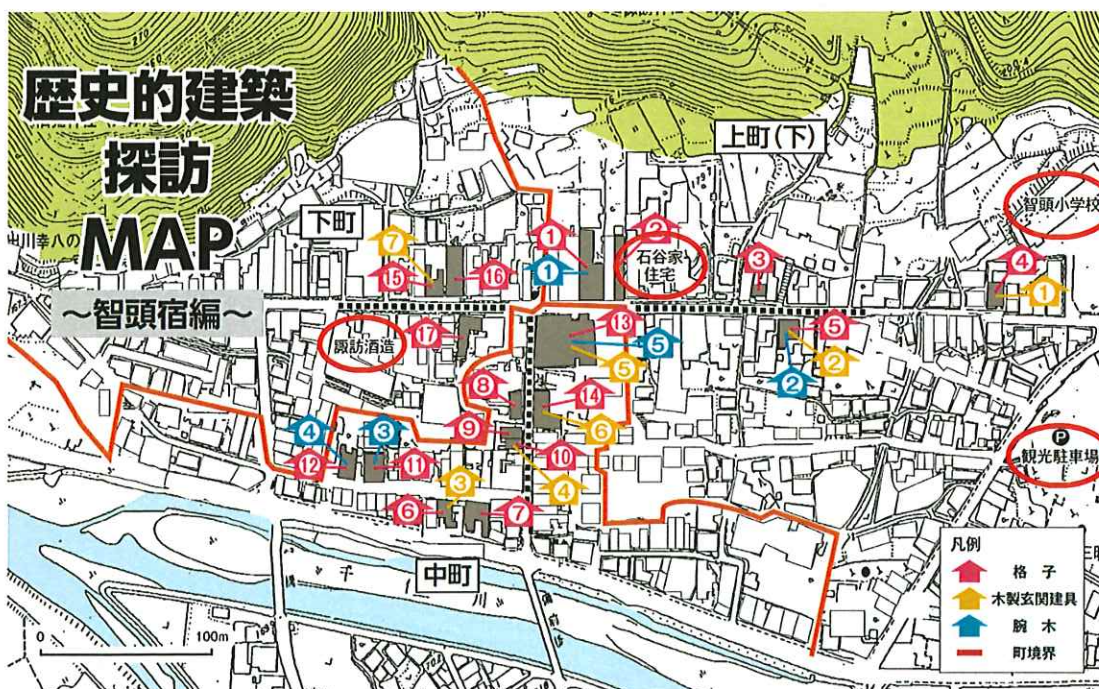
2017 年度の百人委員会で、大学生を中心に組織する団体「Forest Valley (フォレスト・バレー: FV)」を立ち上げ、「智頭宿まちかどプラットフォーム」として「場」の提供を行った。その際に、智頭宿の魅力を発信する方法として、マップ作成の案が取り上げられたため、2019 年度は、紙媒体での歴史的建物に特化したマップ作りを行った。2020 年度は、2019 年度版をより利用しやすくするため、来訪者アンケート調査を実施した。

しかしマップの利活用の促進のためには、幅広い年代層の利用しやすさへの配慮や利用者への実態調査を行う必要があると考える。また、紙媒体にとらわれず、紙媒体に情報ツールを付加することや電子媒体での提供も視野に入れる必要がある。そのため今年度は、2019 年度版 MAP をもとに、智頭小学校に協力を依頼し、児童の視点と情報ツールを取り入れた方法を用いた「智頭宿の魅力発見マップ」の作成、「智頭宿の魅力発見マップ」のデータ化を提案した。



② 「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」の追加修正

2020年度に実施した来訪者アンケート調査では、「現在地が分かりやすいように、観光名所や学校、飲食店の位置も記載してほしい」といった意見が得られた。そこで、地図に観光名所等のランドマークを追加した。これにより、マップ利用者が現在地を把握しやすくなる。



・「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」のデータ化

「Stroly」という企業のサービスを用いて、「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」の情報をオンラインで取得できる電子マップの試作を作成した。「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」をもとに作成し、地図上のランドマークアイコンをクリックするとその地点の情報がわかるようになっている。



【まとめ】

今年度提案した児童の視点と情報ツールを取り入れた方法を用いた「智頭宿の魅力発見マップ」の作成については、コロナウイルスの影響もあり、取り組めなかった。しかしながら、建築環境工学研究室のHPへの「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」の掲載、「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」の追加修正に取り組むことができたのは収穫だと感じている。また、「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」のデータ化に関しては、「Stroly」という企業のサービスを用いて実現させた。

私達はこれまで「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」を作成し、利用者の意見をもとに修正を加えた。また、紙媒体にとらわれず、電子化の試作も作成した。「歴史的建築探訪 MAP～智頭宿編～」を本格的にツール、アプリとして運用する場合、「Stroly」が企業・自治体向けの委託事業を実施しているため、1つの候補となるだろう。

・株式会社 Stroly

ホーム : <https://stroly.com/ja>

企業・自治体向け : <https://biz.stroly.com/>